

化学療法注射箋 (Lu-079) **キイトルーダ+CDDP+PEM併用療法(導入療法)(ジューラスト併**

※プラチナ製剤併用療法4コースまで

4コース以降は維持療法へ

【レジメン】

day 1 ②キイトルーダ 200mg/body

day 1 ⑧ (5) アリムタ 500mg/m<sup>2</sup>

day 1 ⑩ (7) CDDP 75mg/m<sup>2</sup>

上記を3週毎に繰り返す。

【本レジメンのルール】

- CDDP+PEM由来の副作用発現時には、CDDP+PEMのみ延期とし、キイトルーダの投与は原則3週間毎とする。

【治療内容】

□キイトルーダ

実施日	投与薬剤	経路	投薬内容	時間
day1 ( / )	□① 生食50mL	点滴	プライミング用の点滴です。	15分
	□② キイトルーダ ( ) mg+ 生食100mL	点滴	治療薬です。 *フィルター付輸液セット使用	30分
	□③ ※1 生食50mL	点滴	ルート内をフラッシュします。	15分

□CDDP+PEM 【※1】3剤併用の場合、キイトルーダの①から開始し③をスキップして、CDDP+PEMの④へ移行する。

day1 ( / )	□④ (1) イメンド125mg 1カプセル	内服	吐き気予防薬です。	
	□⑤ (2) ※1 生食500mL	点滴	腎障害予防の点滴です。	60分
	□⑥ (3) デキサート12mg+ アロキシバク50mL	点滴	吐き気・過敏感予防の点滴です。	15分
	□⑦ (4) ソリタT3 500mL+ 硫酸Mg補正液1mEq/mL 20mL	点滴	腎障害予防の点滴です。	60分
	□⑧ (5) アリムタ ( ) mg+ 生食100mL	点滴	治療薬です。	10分
	□⑨ (6) 20%マンニトール 300mL	点滴	利尿剤です	30分
	□⑩ (7) CDDP ( ) mg+ 生食250mL	点滴	治療薬です。	120分
	□⑪ (8) ソリタT3 1000mL	点滴	腎障害予防の点滴です。	120分
	□⑫ (9) フロセミド20mg 1A	静注	利尿剤です	
day2 ( / )	□① イメンド80mg 1カプセル	内服	吐き気予防薬です。	朝食後
	□② デキサート8mg+生食50mL	点滴	吐き気・過敏感予防の点滴です。	15分
	□③ ソリタT3 1500mL	点滴	腎障害予防の点滴です。	180分
	□④ ジューラスト皮下注3.6mg (冷所保存)	皮下	好中球減少に伴う発熱を予防します。 ※化学療法終了から24時間以降。	
day3 ( / )	□① イメンド80mg 1カプセル	内服	吐き気予防薬です。	朝食後
	□② デキサート8mg+生食50mL	点滴	吐き気・過敏感予防の点滴です。	15分
	□③ ソリタT3 1500mL	点滴	腎障害予防の点滴です。	180分
day4 ( / )	□① デキサート8mg+生食50mL	点滴	吐き気・過敏感予防の点滴です。	15分

【化学療法に関わる指示】

- 葉酸1日1回0.5mgを毎日服用 (パンピタン1g) (アリムタ投与7日以上前から最終投与後22日目まで)
- ビタミンB12 1回1mg(フレスミンS 1A)を筋肉注射(アリムタ投与7日以上前から最終投与後22日目まで9週間毎)

嘔気時：□メトクロプラミド ( ) A 静注およびデキサート ( ) mg 静注 ※配合変化のため混合しない  
上記効果が不十分な場合

□オランザピンOD錠5mg 1錠内服 (1日1回のみ使用可) ※糖尿病の既往がある場合は使用不可

吃逆時：□メトクロプラミド1A静注

□コントミン10mg 1A 筋注

※メトクロプラミド (注射・錠剤) とH2ブロッカー (注射) またはPPI (注射) は原則併用禁忌です。

国立病院機構函館病院 呼吸器科  
令和元年5月1日